明治四十一年十二月三十一日第三種郵便物認可　(日刊)　日曜及祭日の翌日休刊
明治四十二年二月廿六日(金曜日)　第四十四號　(一)

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

寄書

吉原副總裁に與ふ(下)

一讀者

吉原副總裁足下、足下が官界に於ける循吏なることは既に說けり、而して東拓副總裁として能く部下の俊材を統督し適材を適所に活動せしむるの技倆如何を氣遣ひたり、然れども之れ啻余の杞憂のみ、何となれば足下は循吏として表面に現はれたる技倆の裏面には亦人の知らざる材幹あればなり、足下が地方に長官たるときに於て別段目醒ましき活動をなして世の視聽を驚かしたることはなけれども、能く縣治を擧げて人民の輿望あり批難なかりし處より見るも、前閣となり氣六ツかしき原內相の下に次官となりて能く其間に於て循々として內政に當り、原敬氏をして好次官を得たりと思はしめたる才能は慥に足下が循吏たるの裏面に一種云ふ可らざる技能あることを識認せずんばあらず、加之足下は藩閥を有せざるに能く明治政府に仕へて漸次鰻登りに昇進したるに依るも官界遊泳術に於ても巧妙なる所あるならん、藩閥の寅緣或は勢力ある權門の女婿たるにも非ずして能く今日の地位に迄攀ち上りたる手際は慥に一種如才なき技能あることを語るものなり、然れども余は足下の裏面に斯る技能あることを認むと雖も、足下が全く實力の發現によりて今日を致せるものとも認むる能はざるなり、されど足下が處世に巧妙なることは何人の視察と雖も違はざるべし、斯ることは足下が東拓副總裁たるに何等の故障あらざるのみならず、東拓今後の働きにも稗補する所あらん、而して宇佐川總裁が足下の副總裁たるを肯し共に東拓を經營せんとするに至れる心事は如何、足下も最も適任適材なりとして迎へたる乎、或は他の原因ありて足下を迎へたる乎、世人は未だ其眞を知らざるなり、唯世人は足下を以て官界の事務官には適任するも、韓國經營の唯一機關たる東拓會社の副總裁として如何との疑を抱けり之れ決して無理ならざる疑なり、足下の經歷より見るも、韓國の事には全く通せざる點より見るも至當の疑なり、然れども官吏必ずしも實業家に適せずとは斷言し難し、韓國通必ずしも韓國經營に可なりとも云ひ難し、要するに其實蹟の美事に擧ると擧らざるは其人物にあるなり、世人が如何に足下を評するも足下にして斷然として事蹟を擧るに於ては何人と雖も服するの外あらず今や總て實力の世とならんとす、殊に實業界に於ては官界よりも最も實力を要す、故に余は足下の適不適を云々するは尙ほ早きを思ふ、近き將來に於て足下の適不適は必ず定るべし、希くは其實蹟に於て世人の疑を解き嘆賞の聲を上げさしむるに至らん事を期待するものなり、妄言多罪、

文苑

●雲と雲(二)　むら

◎夕、玉廠院の前に立ちて落日に對す、感慨無量、纔に一篇の不可解詩を得しのみ

天の河、星と星とは
必ずよ、逢瀨はあらめ
天翔る、雲と雲とは
別れなば、復何時か逢はむ。」
君ならで、誰にか言はむ
其雲に、似たる人の身
なまじひに、袖の涙の
あなうたて、熱くもあるよ。」
あか〳〵と、日はつれなくも
沈みけり、森の彼方に
夕鴉、時にいそき
風寒く、鬢髮を吹く。」

是れ愚にて候、痴にて候、他より見れば一嗤にだも値せざるものにて候。(香)
或は然らむ。然れども其心を諒するもの二者あり、則ち一は僕にして一は即ち渠れ。

轉寢の夢に泣く夜や歸る雁　むら

●禿●　かへで

例の翁さんがやつて來た、よくも斯ふ禿たものだ、色は赤銅だが、滑つこいこと玲瓏たる玉だ、後向になつた、矢張毛がない蛔のスケートの練習に恰好な頭だ、「實際、遺憾なく禿てるね〜」と友が云ふ、靑り老ひ易した、斯ふして笑つて居る僕等も、忽ち此の時代に逢ふのであると思つた、翁さん、電燈の眞向ふに坐つた、頭を上るとピカッと光る、下ると又ピカリッと光る、僕は斜に身を避けた、スルト翁さん、これは〳〵と許に、頭に手をやつたが、手はツルりつと辷つた。

●別れ●　れほば

若い瘦せした顏の驛夫が、カラン〳〵と鈴を振つて居る、もう發車時刻が迫つたのである。セコンドクラスの窓から「梅ちやん〳〵、こゝよ」少女の赤いリボンが、風に舞つて居る、「ふーちやん、もう歸るの……」迭に、惜別の涙が溢れた。百千の人と貨物とを孕んだ列車は、煤烟高く搖ぎ出した。「梅ちやん、さようなら」「ふーちやん〳〵てば……」窓から振る白い手巾も、次第〳〵と見わずなつて仕舞つた。

春五句(詠史)　千春

▲佐倉宗吾
身を捨てゝから世に光る螢哉
▲明智光秀
三日とは短かき花の命かな
▲木下藤吉郎
乞食の橋に眠るや春の月
▲小野道風
飛びついて柳にのぼる蛙かな
▲熊谷直實
ちご櫻折つて無常を悟りけり

佐倉宗吾(十五)

眞龍齋貞水講演

何うも此日本では、田舍の人が兎角都の人の眞似をしたがる、洋服を着て八の字髭を燃やし、結構な烟草をパク〳〵喫ひ、金縁の眼鏡、金鎖の時計と來ると、如何にも立派だが其實、蟇口の中には、一錢の銅貨が五つしか入つて居ない、裸体にして仕舞うと何にもないなんて人が多い、それを表面の方から觀て、腹の中まで目が達かぬから、田舍の人が眞擬をして、終には先祖の田地田畑まで失ふやうに成る、希か農村の御方は先祖の農業を守つて、飽までも勵んで貰ひたい、私が生意氣な事を申し上げるやうでありますが、時々農村を廻つて觀ますと、實に農村くらゐ結構な處はない、然るに此堀田領分の百姓に於きましては、惡人輩のために、運上の取立が如何にも厲しい、是では迚も立行かぬが、何うしたものであらうと、毎日集つて評議を凝して居る、此運上と謂ふのは、當今の稅金の事でございます、すると大竹村に萬兵衛と謂ふ親孝行の魚屋がございました、魚屋と申しましても、是は百姓でございます、母親が一人ございまして、一生懸命稼いで居るが、農業ばかりぢや、迚も親子が三度の食事も樂々たべられないと、印旛沼から上ります鯰だの、鯉だの、鮒だの、又利根川から漁れる、川魚を、成田の太田屋だとか芝山だとか謂ふ處へ持て往て商ひをしてゐたが、此節では方々へ持て往く、誠に感心だ、親を大事に孝行する、親孝行魚屋、孝行魚屋、斯う云て人が呼びますですから、大竹村の万兵衛が來ると「ア萬兵衛どんか、マア萬兵衛どんのなら置いて往かつしやい」こんな工合ですから、万兵衛の魚が賣れます、所がこの萬兵衛とて、百姓の一人だから、自分も寄合に往かなけりや成らぬ、今日も鎮守樣へ大勢集つて、段々相談をしたが　甲「兎に角豊凶の事ぢやねえと、迚らハアいけねえだから、夜も遲く成たで、明日にすべえ、マア皆な家へ引取つたら宜からう　乙「それぢや一旦ハア、家へ引取べえ、大分夜が更けたてんだから」と云ので、銘々我が家を指して戻つて來る、歸りながらも皆もう心配して來やうな譯でございます、萬兵衛やがて家へ歸り　萬「御母ア、今歸つた　母「オウ〳〵御苦勞だつたのう、何んな事だつけね　万「ナニ御母ア實は天秤棒の一件で、また今日もこんな暇くつしぶした　母「ア然うか、大きに御苦勞だつた、サア湯が沸いてるから、茶付食はつせねよ　万「ア、茶付でも搔込むべえ　母「已ア既ヶ床とつてあるだから、食て寢さつせね　萬「御母ア、爾うしちや居ねね、今から寢ると直ぐに夜が明けるだから、何しろ江戸の講中が太田屋へ三十幾人で、明日來るんで、萬兵衛魚に差支ねえやうにしてくれと太田屋の旦那から頼まれたんだ、明日早く往て、問屋から魚を買て、太田屋さんだけへは往かなけりやなんねえだ、是から寢ると又、寢過して仕舞つて、間に合はねえと困るだ、御客なさるだから、定めし先方も、万兵衛が魚もつて來るだらうと、待てござるだから　母「然うかへ、ヤレ〳〵それは御苦勞だ　萬「御母ア已うんな事惰だから、其處へ寢ねえから」と萬兵衛自分で勝手取出し、サア御母ア寢なさいと、親孝行でございますから、母親を寢かして而して自分は茶付を搔込んで、圍爐に胡座をかいて、暁ら寢なく夜も明けるだらうと彼是して居ると、時刻が來たから、徐々支度をすると　母「萬兵衛出掛けるけね　萬「御母ア、眼が覺めたかへ　母「ア、[illegible]思ふと、床へ入つても已ア能く眠られねね　萬「誠に濟まねね、何しろ草鞋を穿くから」と草鞋を穿き、荷拵へをして　萬「御母ア、其天秤取てくんな　母「ア然うかね」と出してくれました天秤を受取て　万「ンぢや往てくるよ　萬「大きに御苦勞」と送り出す、

日韓人の結婚

京城新報

日韓人の結婚問題は將來帝國の韓國經營上に於ける緊要の問題なり、何故に之を緊要の問題となす乎、請ふ眼を放て世界各國に於ける雜婚より生ずる雜種兒の狀態を瞥視せよ今試に最も見易き例を擧れば、南米に於ける西班牙人と土人との間に生れたる雜種兒は常に反亂の素因を成せるに非ずや、是等雜種兒の行動を見るに西班牙人に同情もせず、亦土人仲間にも同情せず常に中間に處する爲め不平の絶る間なし、較もすれば亂を好み亦之を煽動するの傾あり、之が爲に反亂の中心となるものは此雜種兒なり更に眸を轉じて露西亞に於ける雜種兒の狀態を見よ、五十有餘種の種族を包容せる大露西亞が常に統一に苦むは此雜種兒なり、韃靼種族の如きは成吉汗の東歐征畧時代より雜婚し、今は其血統混化して純然たる露人となり居るも眞正のスラブ種族に對しては兎角憎惡の念あり、スラブ種族も亦此韃靼人の血を受けたるものに對しては今に韃靼人の名稱を付して輕侮するの傾きあり、斯る形勢なるを以て歷代の爲政家は之を統一するに苦心し、宗教に依りて融和を圖らんとせしも、彼等は容易に耶蘇正教を信ぜず、回々教或は火教を信じて超然たり、其肉体は混化して露人たれども精神は容易に混化せず、露國は之が統一に今尙ほ腐心しつゝあり、南洋諸島に於ける西班牙人及衞蘭人と土人等との雜婚の形蹟に依るも概して同一轍なり、之に依りて考れば殖民地に於ける雜種兒問題は決して輕々に看過すべきものにあらず、頃者日韓人の結婚が多少行はるゝを見て喜ぶべき現象となすものあれども、之れ未だ雜種兒が統一上如何なる面倒あるやを知らざるものなり、ラッド博士の如きは今後四五十年間には混化して日韓人の差別なきに至るべしと云ふ、若し夫れ兩國に於て雜婚を奬勵し盛に雜種兒の生るゝに至らば或は其容貌風俗は差別なきに至るべしと雖も、其精神は五十年百年の間に混化するものに非ざるべきは各國に於ける雜種兒の狀態に依りて明なり、果して然りとすれば日韓人の雜婚は將來如何なる影響を及ぼすべき乎、帝國が韓國の經營をなす上に於て雜種兒の多きは利益なるべきか將た不利益たるべきかは研究を要する問題なり、日韓人の雜婚多きを以て日韓の關係が良好に赴くものなりとなすは皮想の見解なり、然れども結婚の如きは奬勵するの必要もなく亦防止するの必要もなし、現時の如く韓文化の程度が隔絶せるときに於ては或る論者が喜ぶ如く多數の結婚は行はる可らず、日本人にして妻を得んとすれば一衣帶水の祖國には幾多の女性あり、何を好んで風俗習慣の異れる韓人を娶らんや、況や文化の程度の下れるに於てをや、日本の女性にして韓人に嫁ぎ日本男子にして韓女を妻とするが如きは所謂物數寄にして其數は寥々たるのみ、故に此結婚は自然に任するも可なり、唯だ漠然たる考を以て之を奬勵するが如きは不可なり、若し夫れ韓國の主權にして移動するが如きことあらば幷は亦別種の考案を要するなり

東京電報

▲**進歩黨と新政黨** 進歩黨は新政黨組織に決定せり

▲**富士常盤入港** 坐礁したる軍艦富士常盤は修理を終へ廿三日無事呉港に入る

▲**伊藤統監參內** 伊藤統監本日午前十一時參內し御前に伺候し韓皇南北巡狩の件並に韓國の狀態に就き奉答し　聖上より種々御下問あり優渥なる御諚を賜はり別殿にて御餐を賜はり退出前宮相官房にて田中宮相と數刻對談せり

(以上二十四日發)

雜報

●**水產稅收入豫定** 水產稅則は閣議及參與官會議を經て目下統監府にあり近日發布の筈なるが其の稅率は從來の如く專ら收獲高に依りて課稅する如き不便利なる規定を廢止し漁業の種類に依りて規定したれば應用頗る便利にして稅金は亦甚だ廉なる由にて其收入の算定は凡そ十万圓なりと云ふ

●**引繼驛屯土** 度支部より拓殖會社に引繼ぐべき驛屯土の場所は同社に於ても可成纏りたる處を希望し居れる由にて其の大なるものは五百町步計りにて重に南韓地方にある驛屯土なりと

●**漁業法の施行** 漁業法は四月一日より實施さるゝ事に內定したるは既報の如くなるが施行期日に關する勅令は近々發布さるゝ筈なるが此れと共に免許漁業保護區域に關する規定も制定發布さるゝ由因みに農商工部は漁業法に據る各種出願者のために漁業出願心得なるものを編纂し小册子として配付すべしと云ふ

●**民長官選問題** 居留民團法改正法律案委員會は去る二十二日午後一時四十分より開會大內暢三氏簡單に提出の理由を述べ次で大津淳一郎氏の質問ありたるが右に對し兒玉統監府書記官は大要左の如き說明をなしたり

居留民法は明治三十九年七月より實施する事となり其の後施行細則を發布して民長を官撰する事となりたり此の民長撰任の方法に就ては官撰民撰の兩論喧しかりしも韓國在留の邦人は古くより在住せし者と新來せし者とありて自然に感情の面白からざるものありしを以て初め五年間に試驗せし民撰の方法を廢し官撰となしたるなり當時新義州大邱の如き民長選擧の爲に紛擾を惹起し數日職を休みたりと云ふ事さへありたり是れ民撰の弊にあらずして何ぞ其の後元山新義州大邱等に於ける官撰民長は人民の折合も總て宜しく好成績を收めつゝあり又本會議の際提出者は法律の不備に乘じて官選となしたるものゝ言はれたれども決して然る事無し又統監府は居留民を壓迫したりと言はれたれど統監府に於ては人民の便利を計り改良をこそ力むるも壓迫せし事なし云々次で大津淳一郎氏は韓國問題は重大なれば首相統監外務大臣の直接の說明を聽かんと述べ首相統監及び外相の出席を請求せんと發議し金尾稜嚴氏及び栅瀨軍之助氏の贊成あり散會したりと

●**居留地設定委員** 昨日の紙上に於て報導せし韓國に於ける淸國居留地設定問題に就ては統監府參與官鍋島桂次郞氏は之れが設定委員長に同書記官小松綠、荻田悅造の二氏は同委員に同屬片山恒夫氏は委員附に何れも夫々任命せられたり

●**中學校設立問題** 中學校設立計畫に就て一昨日午後一時より當民團樓上に於て統監府及び理事廳學事主任並に各學校長及び教育に經驗ある者會同し學則制定に關し協議する處ありたりと云

●**東拓社員歡迎會** 既報の通り當地民間有志の發起に係かる東洋拓殖會社員歡迎會は一昨日午後六時より花月樓に於て開催されたり主客は宇佐川總裁吉原副總裁以下重役七名にして會する者八十餘名宴開くるに先ちて熊谷民長は鄭重にして而も剴切なる演說を試み次で宇佐川總裁之に對して慇懃なる答辭を述べ轉て宴に移るや紅裙杯盤の間を斡旋し主客十二分の歡を盡して散會せしは午後十時過なりき

●**朝鮮米問屋活動** 外米輸入增稅案の提出に因り大阪の朝鮮米問屋は此の際何等かの方法を講ずる必要ありとし二十一日朝鮮貿易組合事務所に於て當業者の協議會を開き差當り神戶橫濱の外米商とも氣脈を通じ一致の行動を執る事として兎も角電報にて贊成を求めたる由なるが場合に依り陳情委員をして貴衆兩院議員及び政府當局者を訪問せしめ大に運動を開始せん筈なりと

●**警察署長の會議** 去る二十二日より水原に於て開會したる京畿警察署長會議にて諮問事項、注意事項及事務打合事項等に就き開議し尙金觀察使、警務署長代理窪谷警察課長、飯田警部長の訓示演說及び鹽川道書記官、小林財務監督局長等の演說ありたり

●**北韓飢饉視察員** 既報咸南文川郡地方の飢饉に就て內部より來る廿八日頃地方局地理課長羅書記官、同高松主事及び金通譯を同地に派し飢饉狀況を視察せしめ同道觀察使及び書記官等と協議の上之れが救助方針を決定せしむる筈なりといふ

●**咸鏡北道の牛疫** 咸鏡北道の牛疫に關しては屢々報導し置きたるが今尙撲滅を見るに至らず農商工部は此れが防疫をなす爲め鏡城を防疫本部とし一名の獸醫を明川吉州の地方に一名を淸津羅南に一名を富寧、茂山、會寧に一名を鏡城、穩城、慶興、慶源に其の他一名の技術官を派遣し地方警察官と協力して血清注射交通遮斷病牛撲殺等の豫防手段を採らしめつゝありて病牛と認めたるものゝ撲殺は畜主に倍償金を交付する事とせり

●**日本人教授任命** 從來官立學校教授は奏任官に限りたるが官立學校令に改正を加へたる結果判任官も亦教授とすることを得るに至りたる由は既報の如くなるが今回副教授(判任)中より特定の資格ある日本人六名を教授に任命せりと

●**小學校敷地買收** 本年度より高等小學校を擴張する由は既に報じたるが今般愈々同校裏手なる韓人家屋を約五千圓にて買收したれば之れが地均しを終了次第校舍の建築に着手する筈なりと云ふ

●**國旗問題演說會** 日本國旗侮辱問題演說會を開會すべしとの事は既報の如くなるが右は愈々來る二十七日午後六時より當地歌舞伎座に於て開會する事に決定せり

●**疑念韓人の歸京** 日本に於て宋內相の刺客と疑はれたる韓人一進會員南匡觀、崔麟奎の二名は一昨夜馬關より連絡船に乘り込みたる由にて昨夜歸京せし筈なりと云ふ

●**群全間輕便鐵道** 群山全州間の交通を便利にするため過般群全間在住日韓人有志八十一名の連署を以て軌道敷設を內部に請願したるが內部土木局にては主任技師再三日前より審査に着手せし筈なれば案外速かに許可の指令を受くべき模樣ありと

●**印刷局の揚水機** 龍山なる度支部印刷局にては上溜用の水を漢江より引くため構內に三千八百五十石を容るゝ溜水池を設け十馬力の石油インヂンを原動力とせる二臺の揚水機を据付け工事中の處今回彌々落成し昨日より通水せりと云ふ

●**東拓と大邱出張所** 東洋拓殖會社は韓國全道八ヶ所に出張所を設置の筈にて目下其の個所撰定中なるが大邱には愈々之れを設くることゝなり前大邱民團長たりし影山秀樹氏は會社に採用せられたるが多分同出張所に在勤するならんと云ふ

●**銀行檢査員任命** 統監府書記官荻田悅造氏は株式會社日本興業銀行、同五十八銀行、同十八銀行京城支店の檢査を命ぜられたり

對東拓希望論評（其十一）

旭町生

東殖會社經營目的の雄大にして壯快なるは吾人屢々之を聞く、曰く本國移民の**集中的機關**たるべし曰く韓國殖產興業の**樞軸**たるべしと、然かも其資金を問へば僅かに**壹千萬圓**のみ、恩ふに東殖會社が此少額の資金を以て世の豫望に副ふが如き經營を爲す事能はざるは何人と雖首肯する所ならん況や現時拂込資金は僅に二百五十万圓にして內七十五万圓は驛屯土を以て之に充つるに於てをや、而して資本金拂込を完了し壹千**萬圓**を起すも此資力を以て能く韓國經營の大事を了すべしと言はゞ吾人は其**無計算**なるに驚かざるを得ざるなり、夫れ多年荒蕪に附せられたる韓國田野を整理し河身を修理して水利を計り或は貯水池を設けて旱魃に備ふる等の大事が僅かに二三千萬の資金を以て能くすべきに非ざるは敢て多言を要せざる所、されば此限定せる資金を以て强て廣漠たる經營に當らしめんか其結果は徒に會社資金の**散漫なる部分的固定**に歸し所謂蛇蜂兩つながら失ふに至らん事必せり、若し夫れ東殖會社が其所管に歸すべき驛屯土の整理を完了し之れに移民を集中して能事了れりと爲さんには即ち休む、然かも斯の如くんば遂に**羊頭狗肉の譏**を如何せん、吾人の見る所に依るに韓國農民の貧弱なる僅かに種子、肥料及び簡單なる農具等の買入をなすに於ても常に困難を嘗めつゝあれば、此方面に向つて要する資金は比較的大ならざるも其需要や至つて切にして實に是等農民の窮狀を救ひ其生產條件の改善に資するを以て韓國農事開發の第一着步なりといふを得べし、然も現狀に於ては之が任に當るべき團体或は組合の制度殆ど全く缺如せるを以て彼等**農民**は其所要資金を多くは**青田**を抵當として**地方米穀商**より**借入**れ或は收穫米の賣揚金を以て之に充つるものにして現時に於ては此方法を以て最も便利且つ最効果多きものとなす、然るに顧て**金融界**の現狀を見るに其**資金供給力**は未だ**需要**を充實する能はざる爲第一、百三十及十八銀行の如きは本來の職能たる商業界金融の關和にのみ專ら資力を傾注する能はず多くは比較的長期なる不動產に投資するの已むを得ざる有樣なるを以て一般經濟界は勢ひ金融の硬塞を來し**金利の昇騰**せる結果は延びて農民に對する資金融通の途を困難ならしむる事決して少しとせざるなり、されば東拓會社にして眞に農事開發の目的を有するものとせば先づ力を市邑の金融緩和に致し地方農工銀行其他大小農業金融機關及農民と直接賣買に當る商人をして漸次**低利**の資金を以て直間接に**農民**に供給し得しむるの途を開かざるべからず、之れ蓋し往々一地に永住的ならざる彼等個々の小農に對し零砕なる資金の配給に任ずるは東拓直營事業として余りに繁雜に過ぎ寧ろ其不可能なるより出づる必然の便宜策にして又唯一の良法と言ふべきなり、此故に吾人素より東拓會社をして直に其目的たる**農事大經營**を遂行するの實力を有せしむるの希望に於て切なるものありと雖己に前述せるが如く**目的の遂行**に**副**はざる少額の資金を以て初めより强て大企畫に當るは却て敗を將來に招くの虞あれば寧ろ退て**確實**なる**小規模經營**に着くの策に出で先づ資金の一部を投して從來**各銀行の手**裡に散在せる不動產に放資し漸くにして**業**の實を擧げしめ斯くて一般金融の緩和を計るを以て東拓の刻下に於ける最適切なる任務なりと信ず、元より現在の資金百七十五萬圓の如きは之を何れの途に放資するも一般金融界に對し多大の效果あるべしとも思はれざれど所謂**有るは無き**に優るものなれば東拓會社たるもの意を玆に致し速に經營の方針を確立し以て其實行を期すべき也

●**全南農產品評會** 全羅南道光州に於て同道觀察使主宰の下に去る二十日より三月一日に至る十日間光州管轄區內の重要農產物品評會を開催し技師審査の下に成績佳良のものには褒賞を與ふる筈なりと

●**鎭海船渠築造** 海軍根據地として知られたる鎭海灣には昨今碇泊軍艦兵士の爲め娛樂場を設けんとの計畫あり尙過日は海軍省より同海岸に船渠を造るべく當事者實地視察として馬山に來れる由

公人私人

▲本多通譯官　居留地視察の用件を帶び本日鎭南浦群山木浦地方へ出張せり

▲菊池平壤理事官　在京中の同理事官は往復約三週間の豫定にて昨朝京城を發し歸朝の途に就きたり

近事片々

▲外國宣教師の一團は宋內相の基督教徒に對する言議に就て質問書を呈出せんとす

▲兎角口は禍の基彼が長廣舌を揮ふて取返しの附かぬ事にならんとは片々戒飾せり

▲宋君の饒舌は往々伊公に禍ひを及ぼす今回の事も其一也必ずや手痛く叱汰されん

▲今に始めぬ彼の饒舌を知りつゝ同伴するが惡い併し殘し置きても心配隨分厄介物

▲一進會某頃者統監府の某高官に哀訴して其維持を懇願せりとの說あり果して異乎

▲一說には宋內閣を組織して一進會を以て御用黨とするの計畫を醸せりとも傳ふる

▲死に瀕せるが如き一進會の悶き方は實に見苦し宜加減に大勢を悟れ南無阿彌陀佛

▲兒玉書記官議會に答へて曰く民選官長は元山大邱義州共に人民に氣受けよし云々

▲何處を押せば斯る音が出るわけのものか空々しきにも程があるすまじき者は宮仕

▲元山の如きは今尙ほ苦情絕へず居留民は一齊に官選民長を排し居るに非ずや呵々

▲如何に鷺を烏に言ひ黑めても事實は現として明也帝國議會は決して盲目にあらず

▲代議士の一人曰く書記官位では判らぬ統監及外相の說明を聞かんと終に之に決す

▲伊藤統監ならば豈夫斯る輕卒なる答辯はせざる可し俗吏の忠義立は時に妨害あり

▲大竹代議士の質問に何れ伊藤統監の說明演說あらん乃公何と統監政治を辨護する

▲頃者墺國の行動に就て露國は大に憤怨の情を起せり今や將さに反對の活動あらん

▲スラブ民族大同盟の側よりすれば墺國近時の行動は大に感情を害する所あるべし

▲東歐問題は之に依りて亦もや火の手を揭げ來らん乎東歐は到底禍亂の根原たらん

▲米國大統領ロ氏は掉尾の活動として起たんとす世界の富源保存なる大問題を提て

▲世界富源保存を講究する爲め海牙に萬國會議を起すの提議を四十五箇國になせり

特別廣告

[illegible]航路問題の件は委員會にて三浦代議士提出理由を說き[illegible]鐵道清津より會寧に至る輕便鐵道を汽車鐵道に改造し尚清津より[illegible]

[illegible]路の件に至りては[illegible]に依り急設の要なしと述べ結局清津より元山を經て日本海諸港に至る航路と修正の上可決せり（二十五日發）

[illegible]整理中なりし南韓煙草會社は此程愈々[illegible]が同社資本金は三萬圓にして株主三十五人なりしを整理上十五人に縮め而して一方[illegible]入金をなし[illegible]

●韓海淡菜業狀況

[illegible]蔆製造は二十萬本に達するならんと云ふ[illegible]所は容易に再生力なく再生補殖期迄は殆んど十四五年間を待たざるべからず故に淡菜[illegible]にて好採期と云ふは春季を最も宜しとすと[illegible]翌年五月迄の八ヶ月間[illegible]

雜報

●酒井政平の破綻（五）

……▲悲むべき居留地の問題▲中村再造氏の被告事件眞相……

去る二十四日本紙所載の對酒井債權者諸氏より市原熊谷の兩氏へ呈出したる整理案服從承諾證書記名調印者中 **梶原末太郎**を脫漏したれば玆に特記して同氏も承諾證書に**記名調印**を爲したる一人なることを明にす

▲監理委員報告　酒井に對する各債權者より**厚き信任**を受け財團監理委員に就任したる**中村再造**待井三郎飯泉幹太の三氏は就任後四十日間大に勵精して整理を進行し四十一年七月二十日左記第一回整理報告書を各債權者に配付したり

酒井政平に對する債權財團整理第一回報告書

明治四十一年六月七日巴城館に於ける債權者集會に於て熊谷市原兩氏の整理案に基き酒井政平債權財團監理委員に撰擧せられたる以來本日に至る迄四十餘日間小員等の爲したる整理の概況を左に御報告申上候に付御意見有之候御方は來る二十二日迄に**中村委員**まで御申出被下度若し同日迄に何等御通知無之候節は御承諾を得たるものと認め候

第一、勸農會社に對する交渉

同社の債權額三萬圓は完全なる優先權を有するを以て財團は當然其權利を[illegible]し單に期限の猶豫及利子低減を同社の公共心に哀願するの外なく且つ最初に交渉するの必要を認め以上の方針にて再三交渉したる結果委員は財團の損失を[illegible]り止を得ず同社の優先權參萬圓の元利金を此際返却することに決し之れが借換を奔走し略ぼ確定せるを以て目下利子低減等に付切りに交渉中

第二、酒井政平現住土地家屋賣却の件

目下酒井政平の住する本町五丁目の土地參百七十七坪及三軒の家屋處分は委員に於て最も困難とせる處にして今回左の如く處理することに決したり

一、**中村再造**氏に金**四萬參千五圓**に賣却すること

二、中村氏の債權**參萬圓**は右賣却代金と相殺すること

本件に付ては第二抵當權抹消に付故障あり未だ決定せず

實は勸農會社の追求甚敷而して財團には餘額なきを以て止むを得ず其差額と他の融通金とを以て同社の債權を代辨する方財團の利益なりと信じ以上の如く決したる次第なり

第三、土地家屋賣却交渉に付ての顚末

整理期間は二ヶ年と限定しありと雖も委員は成べく早く之を完了せんと期したり而して速成には必ず多少の損失を伴ふべきは理の當然なりと雖も長期間無利子に据置かんよりは寧ろ多少の損失を忍び完了するの却て各債權者に利あるべきを信じ諸所に賣却方交渉したるも一箇所の外は未だ確たる望手なく目下切りに望手を探しつゝあり委員は玆數ヶ月の內に結末を見んとの考なり

第四、十友會社に對する交渉顚末

十友會社に對しては再三交渉せしも要領を得ず其大畧左の如し

同社の主張

復權と云はんより賣却其他總てのものを其儘にし出資金六千圓を七千圓に買入るしことにしたし

以上未だ結着するに至らず而して其差金一千圓は委員豫期の金額に達せざるを以て目下其交渉に付熊谷氏を煩はせり何れ近日の內結末を見るに至るべし

第五、裏書人貞島品吉に對する處分

酒井の手形に裏書したるもの多々ありと雖も最も著しきは**貞島品吉**なり故に手形債權を有するものゝ爲めに貞島をして相當の擔保を提供せしむる必要あり即はち**熊谷市原**兩氏の**成案**に基き貞島に交渉し略左の如く決定したり、但本決定は同人に對する手形債權を有する債權者會を開きて始めて確定すべきも不取敢左の如く協議を爲せり

一、貞島より金貳千四百圓を擔保として提供すること、但月々百圓宛月賦拂とすること、尤も將來酒井の支拂たる支拂金額の殘額に對しては貞島は支拂の義務を履行する事

二、前項の月賦積立金百圓は已に飯泉委員に供託し年一割の利率を以て天一銀行に定期預け金とせり

三、前項以外猶擔保として提供すべきものに付ては目下交渉中

第六、酒井商店營業現況

酒井商店營業は成績佳と稱し難きも將來は有利に發展するを得べし而して**不成績**なりし理由

一、整理の際**誇大**に吹聽せられ世人の誤解を相き爲に華客思はしからざること

二、先月の如きは**新聞紙**上に**無根の事實**を報導せられ一層人氣を損したること

三、夏季に於ては日本酒の販路余り面白からざること

六月分の損益勘定に於ては僅か一圓余の利益となりたるのみ而して財團に對して二百圓の家賃を支拂はず

酒類仕入に付ては財團より約八百圓余を貸與して營業をせしめたり

以上は稍顯著なるものゝ整理交渉の概況にして此他のものに付ては比較的速かに進行するを得べきか

明治四十一年七月二十日
酒井政平債權財團整理委員
中村再造
待井三郎
飯泉幹太
（つゞく）

●各高等料理店の不埒

▲勘定の二重取り
▲紳士連の大迷惑

多少の勘定の書け掛け位ならば第一流とか高等とか云つて見た所で多寡の知れた料理屋稼業、其位の事は行りも爲樣よ至當だよ位で如何に野暮なる三面子も吃驚どもするのちやないけれど客の人柄を見て取つて此の方ならば其樣ことを兎や角仰云氣遣ひなしと勘定の二重取を爲すと云ふに至つて燃かざるを得ず而して既に此の事は或る筋より一部人士間の一問題となり居るとの事なるが中には未だ彼れ等の奸手段に心付かず宜い椋鳥にされて居る方もあらんと思へば其の憫むべき二重取りの方策を素破拔かんに今玆に二人一座のた客ありとせんか一方御主人役らしき紳士へは月末に至りて二人分を請求し今一方の方へも何日分の御割前御勘定として之れを請求するなり御主人役に當りたる人は元來より其の心算なれば何の疑ふ所もなく之れを支拂ふも一方御馳走になつた私りの方では可怪い理さは思ふものゝ身分柄イヤ此れは何君が支拂ふ筈だとも云ひ切れず且つは內々彼奴の言ひ付けかも知れずと思へば迂濶なことも言ひ出せず人に馳走をして置きながら割前勘定を取りに寄來すとは酷い男もあるものと其儘茶屋の請求通り拂ひ渡すは十人に十人迄一夫れが露顯しても使ひの者は平氣なもの帳場さんの手落ちでしようからモ一遍調べて參じます左樣ナラとツルリと滑り拔けるなりと云ふ萬一此れが嘘だと思召さば何れ役人でも紳商でも有志方でも心覺へを繰り返へし見られよ如何方でも五遍や八遍此の手に掛つて對手の方を客嗇奴の義理知らずのどれ思ひなさつた覺へはあるべし然るにても斯の如き事は各樓主人の如つた事にはあらざるべきも迷惑するのは客と樓主とのことなれば善しく帳場に嚴命して取締る所ありて可也と縣廳からの達し染みた投書がとラリ

●精神病者の送還　兵庫縣姬路市の生れにて當時京城本町七丁目の料理店市袋亭の酌婦三木タキ（二十）は精神に異狀あるにや龍山印刷局勤務のものなりなど稱して處々に車の口へ乘りをやらかしたるが精神病者なるを以て本願寺の行路病者收容所に收容したるも何分始末につかぬ所より謝絕されたるにより是非なく明日郷里姬路に送還せらるべしと云ふ

●一昨夜のボヤ　永樂町三丁目韓人孔在允所有の家屋にて日本人某が借受け居る板場にて小供等が鉋屑を焚き居り夫れが燃へ上りて大事に至らんとする所を早く見付けたるため直に消し止めたりと御用心〳〵▲明治町三丁目高橋源吾所有の韓人家屋を日本建に改造する普請中溫突の焚穴より柱に燃へ移らんとせしを隣家のものが認めて直に消し止めたる爲め大事に至らざりしとは結構〳〵

●(演)…(藝)…(だ)…(よ)…(り)●

▲壽座　同座今夜の替り狂言は「畜生腹」九場にして切りが「恭太平記白石噺」なり

▲永樂亭　同亭今夜の語り物は左の如し
落語手踊（七輔）講談義士銘々傳（百朝）新講談梅村幾次郎（赤團）新內白木屋店段若太夫、三味妻吉）節講談大久保源次（吾樓）落語指ゑ（百朝）上るり先代萩御殿場（梅笑、三味吉瓢）曲藝ステヽコ（遊七）朝顏日記宿屋の段（大之助）落語百面相（遊七）大切かる口掛合

▲龍山座　當地歌舞伎座に於て連夜喝采を博したる合同團の一行は今夜より龍山座に乘り込み初日藝題として「松山颪」を演ずると

平民文庫

▲長谷川町の水道栓の近所に「女所髮結」と云ふ看板を出した家がある「女所」は要するに「女衆」であらう何に夫れでも通ずれば夫れで宜い改めるには及ばぬ（通行人）▲大觀亭の裏門附近に名刺印刷所がある其處の主人であらう昨日れ野の綻ひた着物を着て表に出て居たが妻君たるもの一寸縫つて上げなさい（上方贅）

六）▲南大門は人間には通行させないが已れ達は大威張りて通り拔けることが出來る犬と生れたる亦幸福なりだワン（朝鮮犬）▲五十八銀行の櫻町で毎晩出會ふて喃々私語する若い奧樣と書生さんどがあります大それたことは止し遊ばせよ（官舍の下女）▲再昨朝九時南大門停車場前に立つて車を招んで居た二人連れの婦人があつたが其の內の廿二三の婦人は頗る美人であつたが氣の毒なことには確か右と思ふた其の右の眼がヤブであつた專門醫の診療を受けらるれば乾度全治します早く治療せられて天の成せる麗質に一層の光りを加へられんことを切に勸めする（同情生）▲廉くするから炭を買つて吳れと云つて來た人があるから買ひました所が石や材木が澤山這入つて居りました少し位高くても信用ある所から買はなくては損です（高野潔）▲山本刑事を殺した短銃强盜は未だ逮捕の緖につきませぬか憎むべき奴ですから早く捉へて下さい（岡山縣人）▲東洋拓殖會社の金融部では無抵當でも融通して吳れますか（一浮浪人）▲野菜は溫暖い時の方か美味いけれど鳥獸魚肉類は嚴寒の候に限りますね（北漢山人）▲私は暑い時より寒い方が凌ぎ宜い方ですが只役所へ持つて行く飯が冴るのには閉口します（腰辨官吏）▲必ず來なきやならない手紙が來ないから先方に問ひ合はせると送つたと云ふ事が度々ある此樣風では書留にでも爲なければ安心して端書の一枚も出せない先方の逃口上もあるだらうが局の方でも注意して下さい（旭町の住人）▲曲り迂つた裏の方へ錢湯を建てることは考へものだ出火の際などは非常に危險である（猥猴子）

●天氣豫報（自廿五日午後六時至廿六日午後六時）

北又は西の風晴れ

廿五日　最高溫度（華氏）三八、五　最低溫度　一五、八

本日午前六時韓國氣象概況　昨夕遼東に現はれし小低氣壓は東北東に進行せしを以て京仁地方降雪ありしも今朝城津冲に出で各地共北西の風吹き一般に晴天にして氣溫下降せり

▲無料紹介欄▼

人事部

被雇度 法律事務に心得あり年齢二十三歳 履歴書 姓名在社（一七〇）

簿記に心得あり會社官廳を望む年齢二十六歳 履歴書 在社（一七二）

物理學校及中學校卒業の者數學物理日語教師に被雇度地方行にても官敷俸給不論 姓名在社（一七三）

昨年十一月現役滿期下士社又は銀行事務員に雇はれたし可成は韓國側官省の事務員を望む履歴書は何時にても持參 姓名在社（一七九）

と針入用 卅歳前後より四十歳迄の婦人にて普通裁縫の心得ある人を求む旭町一の六十旭町競賣所（一八一）

店員數名職工數名募集 京城御成町 樋本染色工場（一八二）

物件部

貸間 二階六疊二階床間押入付 至急貸したし 旭町一の六十 京仁商會（一六一）

雜貨 見切品見世仕雜品及諸道具其他不用品何でも買入ます 旭町一丁目 旭町競賣所（一六二）

賣家 大和町三丁目遊廓裏道川端地坪約五十坪有賣平家造作付四軒建長家井戶付屋敷賣却致度 赤門 岡（一六八）

貸間 旭町便利の場所に賄付上等貸間あり高等官亦は會社員向御希望の方は電話六五九番に御紹介被下度候（一六九）

旭町一丁目山の手にて風景絕佳の土地建物付にて讓り度し 姓名在社（一七五）

鳥致院近傍にて田畑二十余町步納家二棟農具各種小作又は纏渡しの相談に應ず 姓名在社（一七七）

貸家 京城明治町二丁目所在二階建五間疊建具完備厠勝手元用水便利也 家賃廿二圓、廿三圓、卅五圓（一七八）明治町角藤田合名會社貸家係（電話二〇番）

貸地 龍山靑坡契（彈藥庫橫）千五百坪便利貸附仕候風景絕佳住宅向 京城北米倉町一丁目 多田質店（一八〇）

廣告

待合 まつ花 京城南山町一丁目病院前 電話 番

▲淸潔の下宿▼
客室の淸潔ご調理の美味ご御扱の懇切ごを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戶橫小路（元花屋跡）
▲懇切の下宿▼
かめ屋

[illegible]染物 [illegible]洗張工場

大見切賣
金口卷莨各種
エヂフト卷莨
弊店儀營業上の都合に依り來る二十五日より三月二十五日迄（三十日間）現在品悉皆各國產煙草大見切安直を以て（但し現金）御高需に應じ候間此際陸續御用命の程奉願候
二月二日
各位
本町一丁目 トルコ煙草商
日希商會

特約販賣自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
（電話二五一番）
和洋酒、罐詰、穀物麵類、銘茶、罐詰、乾物荒物、食料雜貨、ビール、米糀、其他各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

●土耳古金口莨直輸入●
GDS
ジーデーシエリベン
・GDSIERLIS & SONS・
SAMOS (TURKEY)
ジーデーシエリス會社
出張所 明治町二丁目
エムジーシエリス
●韓國特約販賣店●
京城黃金町 井出商店 電話一九〇番
釜山本町 內山米太郎 電話一〇七番
平壤大和町 佐藤商店

銘茶御小賣 [illegible]茶舖 京城本町[illegible]丁目

材木大發賣
弊店にて各項好品材木を俱備し廉價放賣仕候其種類は左の如し
松丸太 大中小
同角材 各種
同板物 各種
右物品は多數有之候間大方の御方は御購買被下度候
京城永樂町二丁目赤門通
竹東材木店 告白

全やま足袋
大阪立賣堀 岸田商店 本店
縫外れ其他不完全の品有之候節は何れの販賣店にても御引替可申候

新規着御案內
やま玉タオル
右タオルは弊店綿布工場部の製織にて特別廉價を以て發賣可仕候間不拘多少御注文被仰付度偏に奉希望候
京城日之出町（學校下）
やま玉足袋
御賣出張所

靑々園
滋味 風味 實質の三者を兼備す
正銘宇治茶京都の茶器
進物用にも尤も適當なり
京城本町四丁目
茶及茶器商 靑々園茶舖

西洋料理
東京高輪壽し
會席料理
丼類いろく
折詰辨當
同サンドーウヰッチ
南大門停車場構內
エーテー淵田
電話六八七番

米 東京火災保險株式會社
明治廿年創立資本金一千萬圓
日本國火災保險業の嚆矢
代辨店 山口吳服店
事務所 京城本町二の三電話九番

一ヶ月八圓の下宿
黃金町
統明館
（明治町突當り）

至急廣告
時下寒明ノ候ニ相成先以テ無事ナル御方々ハ御安靜之段奉賀候就而本年ハ酉年トテ古人ノ諺ニ酉年ハ火災多シトシ依テ此災害ヲ未前ニ防クノ條件ヲ守ラバ必ズ災害ノ憂ナシ
第一 貴重ナル寶物ハ高崎製金庫ニ貯藏スル
第二 戶前窓口等ハ日英米特許ノ防火扉ヲ付クルコト
第三 消防用トシテ東京岡崎製ノポンプヲ備付クルコト
右ノ通ニ付未タ据付無之諸君ハ左記ノ處ニテ御買求之程目下之急務ニ有之候定價表御入用ノ方ハ申越次第呈送ス
高崎製金庫
韓國一手販賣
京城支那領事館通

清韓洋行
電話四九四番

最近ノ火災ニテ實地證明ハ
明治四十年三月五日仁川大火ノ節
第二號形 宅合名會社
第七號形 前之園煙草店
第六號形 日々新聞社
第三號形 龍山秉古
仁川醬油會社

純良
乳
牛乳元祖
京城大和町一丁目
平山牧場
電話百二十三番

●大勉强●
肴五品 御一人前 一圓七十錢
折詰三ッ一個 御一人前 三圓
御酒三本
藝妓一時間 御三人前 四圓五十錢
其他御好みに應じ宴會等は尤も御勉强可致候尙洋食洋酒等も備付有之候
會席御料理
京城本町六丁目
花屋

神田組
京城太平町二丁目
巴商會
韓國一手販賣
京城南大門通
電話六〇三番

特色 一、用途
火付善くして火力耐久價格低廉
汽罐暖爐竈用ニ適す
周防德山海軍省煉炭所東隣
各種無烟煉炭工場
京城特約店

新發明 德山燃料 無烟煉炭

登記漢城府手續 京城本町一丁目
諸願居代書 民役所前
土地鑛山測量
集金取立代辨 岡田事務所
土地家屋賣買其他
金錢貸借諸般ノ仲介 電話七〇五番

[illegible]ちょ[illegible]張所

●寒氣と牛乳
●牛乳と消毒
韓國畜產株式會社
南大門外（電話八八番）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金參百萬圓
積立及繰越金八拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行京城支店
（電話四二〇）
本店 長崎市築町
支店出張所 大阪 熊本 佐世保、嚴原 五島、壹岐
韓國 京城、龍山 仁川、木浦 釜山、元山 羅州、群山
日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候
（利息日步壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店
（十八銀行京城支店）

洋純[illegible]

日本郵船株式會社
仁川出帆廣告
電話十番
瀛船
貨物及船客取扱店
仁川海岸通
郡回漕店
電話三九番

●大連行（船客御斷） 新潟丸 二月廿四日午後五時出帆
●釜山長崎門司神戶行 山東丸 三月 十三日後三時出帆
●大連、太沽、牛莊行 高砂丸 三月 十八日後一時出帆
●大連、大沽行 山東丸 三月 二日前五時出帆
●大連、大沽行 酒田丸 三月 四日正午出帆
●釜山出帆、元山、淸津、浦鹽行 上川丸 二月二十四日
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲廣告五號活字十九字詰一行金五十錢▲發行
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城新報社
京城西署西小門通
電話六六三